

# 旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース
宗教	宗教	1	3	必	キャリアデザインコース
科目の目標	浄土真宗を開いた親鸞について教えや歴史を学ぶことにより人間としての生き方を学び、自分の人生について考える。人間の欲望が底なしであり自分を見失ってしまうほどの悩み、苦しみがあること、ありのままの自分を受け取ることの大切さ人間とはなかなかありのままの自分を受け取れない、特に高校生はモラトリアムに陥る時期であり「自分一人で生きている」というような考えになりがちである。私達は一人では生きてゆけないことを実感し報恩感謝の精神を身につける。				
教科書	見 真 (本願寺出版社)	副教材等	聖典・聖歌		

## 1. 学習の到達目標

3学年の宗教では、「見真」の4章「親鸞聖人の生涯」5章「念仏の教え」6章「無限のいのち」を通して浄土真宗を開かれた親鸞聖人の生涯とその教えについて学びます。親鸞聖人の生涯を通して、今日、人生に対するいろいろな考え方の中で「生きる意味とその方向性」を見つめ直していきます。無限の命の広がりの中で、自己中心的な見方の過ちを見直し、今後、人類の「共生」のためにも、われわれはどのような実践活動に取り組むことができるかを、一人一人が考えていく。

## 2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)、Y(思考・判断・表現)、Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
評価方法・授業の進め方	3	4	聖人の「比叡山の修行」「法然上人との出会い」「念仏弾圧事件」「恵信尼との結婚」「関東の伝道」などの生涯を通じて、その生き方について学びます。  聖人の説かれた「念仏」の教えについて学びます。「他力本願」「阿弥陀仏の本願」「信心と称名」のないようとは、「阿弥陀仏の本願を信じ、念仏すれば阿弥陀仏に助けられ、仏になる」ことです。私たちが救われていく道が説かれていますが、自分の救いの問題として、真剣に考えよう。  私たちの生活は、科学技術の発展と進歩により大きな恩恵を受けてきました。しかし、「環境」「家族」「いのち」の問題に対して、いのちを脅かす多くの問題が出てきました。ここでは、今までに仏教の学習によって、私たちは「いのち」の尊さに目覚め、無限のいのちの広がりについて学んできました。このような、いのちの広がりの中で、自己中心的な見方の過ちを見直してみよう。	○	○	○
浄土真宗の開祖 誕生・得度(出家の式) 山上の生活・吉水生活	5	5		○	○	○
越後生活・関東生活 帰洛生活 親鸞聖人の往生	4	6		○	○	○
1. 真実の教え	4	7		○	○	○
如来の願い	2	8		○	○	○
釈尊の本意 阿弥陀如来と釈尊	4	9		○	○	○
2. 本願ということ 阿弥陀如来の本願 他力の信心 浄土とは	5	10		○	○	○
3. 称名は報恩 念仏生活 真実の救い 念仏の日暮らし	4	11		○	○	○
1. 環境 2. 家族 家族の表情	3	12		○	○	○
家庭の役割 お仏壇のある家庭	2	1		○	○	○
3. いのち	4	2	○	○	○	
	3	3	これからの人生について考える	○	○	○

